

— 山下病院広報誌 —

Vol. 6 TAKE FREE

KOKORO

Medical corporation Yamashita Hospital [こころ]
since 1901

連携医療機関 医師インタビュー

山下病院の「地域包括ケア病床と訪問診療」
医師からのメッセージ

お
な
か
の
病
院



おなかの病院



一宮市 おなか 病院 × | 🔍

 医療法人 山下病院
Medical corporation Yamashita Hospital

〒491-8531 愛知県一宮市中町1丁目3番5号 TEL: 0586-45-4511

 <https://www.yamashita-hp.jp/>



連載 特集医師

つつい内科クリニック 院長

筒井 茂 先生

3 p

つつい内科クリニック 一押しポイント

4 p

医師インタビュー

5-6 p

山下病院 News

山下病院の地域包括ケア病床と訪問診療

「片山医師に聞く！地域包括ケアとは！？」

山下病院

専務理事 地域包括支援・在宅医療統括部

消化器外科 片山 信

7-8 p

地域包括ケア病床の説明と申し込みの流れ

訪問診療の説明と申し込みの流れ

9-10 p



Medical corporation Yamashita Hospital

おなかの専門病院

<https://www.yamashita-hp.jp/>





つつい内科クリニック

院長 筒井 茂 先生



今号の連携医療機関特集医師にご協力いただきましたのは、つつい内科クリニック、筒井 茂先生です。

つつい内科クリニックは2009年に開院されました。

消化器内科が専門分野で、消化器系疾患はもとより、高血圧症や糖尿病などの慢性疾患も積極的に診療してみえます。地域住民の信頼も厚く、患者さんだけでなく、その家族にも寄り添った医療を提供されています。

山下病院との連携は強く、毎年多くの患者さんをご紹介いただいています。地域の皆様の健康増進に尽力され、地域医療推進に多大なる貢献をなさっている先生です。

(文／山下病院 地域連携広報企画室)

つつい内科クリニック一押しポイント

つつい内科クリニックの特徴

開院15年の内科系クリニックです。私の専門である消化器系疾患の診察の他、風邪から高血圧症や脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病の診察を行っています。胃カメラなどの内視鏡検査やピロリ菌の診療なども積極的に行っています。また、インフルエンザやコロナなどの予防接種、特定健診や各種のがん検診などの予防治療も行っています。

地域の皆様のお役に立てるように、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ感染症などの診療も積極的に行っています。必要時には、近隣の病院や診療所と連携を図り対応しています。

対応検査

経鼻内視鏡検査(胃カメラ)／下部消化管内視鏡検査(大腸カメラ)
超音波検査(腹部)／血液検査



内視鏡検査機器



超音波検査機器



安心・安全の
医療サービスを目指して

Q 消化器内科を志したきっかけを教えてください。

A 学生の頃からがんの診療をする医師に憧れていました。研修医の時に体験した内視鏡検査に感銘を受け、自分の思うように内視鏡を扱えるようになりたいと思いました。また、消化器内科は消化管（胃、食道、大腸、小腸）、肝臓、胆膵と扱う臓器が多岐にわたるので、必ず自分に合う領域があるのではないかと思います。

Q 患者さんと接する上で、大切にされていることは何でしょうか？

A 当たり前のことですが、診察前と診察後には必ず挨拶をするようにしています。付き添いの方にも診察室に入室してもらい、一緒に診察を受けていただきます。希望される方には検査室にも入室していただきます。正直な対応を心がけているため、自分では対応できないことはお断りすることもあります。

Q 地域のかかりつけ医として、心がけていることを教えてください。

A 医療機関である以上、病気の診療（診断・治療）は当然ですが、予防接種や特定健診などの予防医療の必要性を感じます。当院では、各種のがん検診や特定健診を積極的に行っています。がん検診などで精密検査が必要な方には自ら電話をするなど、できるだけ早い対応を心がけます。近隣の病院などの連携も積極的に行うようにしています。

高血圧症や糖尿病などの慢性疾患を抱える患者様とは長い付き合いとなるため、信頼関係を築くように心がけています。患者様本人だけでなく、家族の方とも信頼関係を保てるようにしています。

Q 症状で悩んでいる方へのメッセージをお願いします。

A 相談していただくことが第一と考えます。相手を信頼すること、
も大切だと思います。

（インタビュー／山下病院 地域連携広報企画室）

つつい内科クリニック



【診療科目】内科 / 消化器内科 / 糖尿病内科 / アレルギー科

【診療項目】一般外来 / 市民健診 / 予防接種

診察時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	—
16:00~19:00	○	○	○	—	○	—	—

【休 診 日】木曜午後・土曜日午後・日曜祝日



〒491-0914 一宮市花池2-11-20
TEL.0586-43-1711 FAX.0586-43-1711

この冊子を手にとってくれた方へのメッセージをお願いします。

消化器疾患をはじめ、高血圧症や糖尿病などの生活習慣病だけではなく、風邪などの一般疾患の診療も行っています。各種のがん検診などの検診業務も行っています。

当院が地域医療のお役に立てるよう、日々精進していききたいと思います。

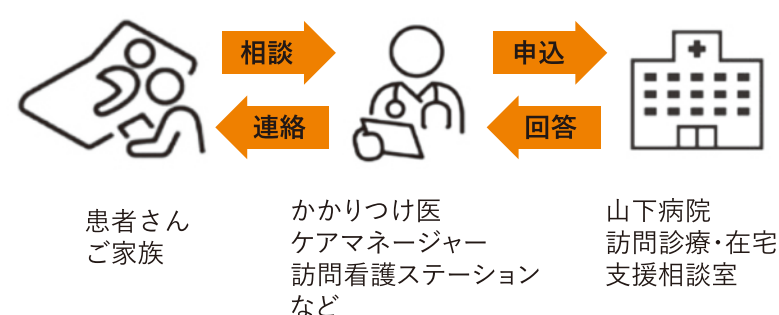


地域包括ケア病床の対象となる患者さん

- ① 急性期治療を終了し、症状が安定された方
- ② 在宅療養中・介護保険施設入居中で一時的に入院を必要とする方
- ③ レスパイト入院
→ 何らかの事情で一時的に在宅介護が困難になった場合に、病院で短期間お引き受けする入院
- ③ 検査入院
→ 在宅で訪問診療等を受けている方の中で、検査が必要と判断される方

左は、地域包括ケア病床の入院対象の方を示しています。
レスパイト入院とは、介護をして見える方が入院したり、介護疲れで介護が困難になった際に、病院で短期間引き受けする入院の事です。

地域包括ケア病床への入院申し込みの流れ



- ① かかりつけ医、ケアマネージャーさん、訪問看護師さんに当院地域包括ケア病床入院の申し込みの依頼をしてください。
- ② かかりつけ医、ケアマネージャーさん、訪問看護師さんから当院へ連絡があり、患者さんの情報提供を受け取ります。
- ③ 当院で受け入れ調整を行い、受け入れの可否、入院日時・大部屋または個室入院などの結果をかかりつけ医、ケアマネージャーさん、訪問看護師さんに回答します。
- ④ かかりつけ医、ケアマネージャーさん、訪問看護師さんから、患者さん・ご家族に連絡が入ります。

問い合わせ先：訪問診療・在宅支援相談室

受付時間：祝日を除く月曜～金曜▶9時～15時、祝日を除く土曜▶9時～11時

TEL **080-4941-7125** FAX **0586-22-9375**

※ご本人・ご家族など、個人からの直接の申し込みは受け付けておりませんのでご了承ください。

訪問診療の対象となる患者さん

- 歩行が困難で通院が困難
- 寝たきり、またはそれに近い状態
- 脳梗塞や神経疾患などにより、身体機能が低下している
- 末期がんなどで、ご自宅での療養希望
- 住み慣れた地域やご自宅で、人生の最期を過ごしたい
- ご家族と最期まで共に過ごしたい



※情報共有や連携を図るための他職種との会議風景

山下病院の地域包括ケア病床と訪問診療

片山医師に聞く！地域包括ケアとは？！

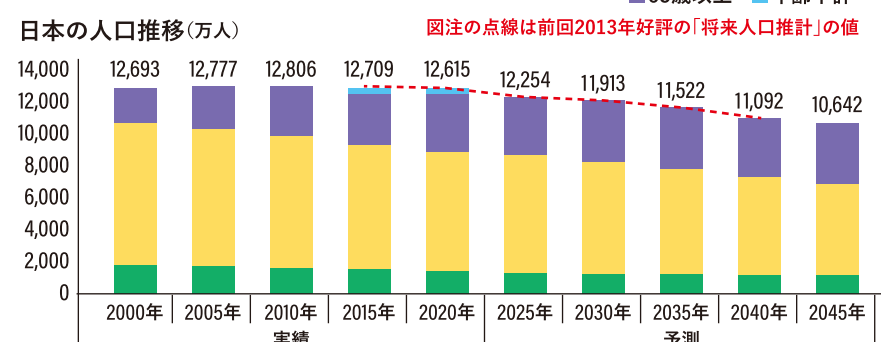


「地域包括ケア」とは、医療や介護が必要な状態になった時、可能な限り、住み慣れた地域で自立した生活を続けられるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に保たれる考えです。

地域包括ケアシステムが機能する事で、要介護となった高齢者は、施設や病院ではなく自宅にしながら、一貫した質の高い医療や介護の提供を受ける事ができます。

今号は、当院の地域包括ケア病床や訪問診療について説明します。

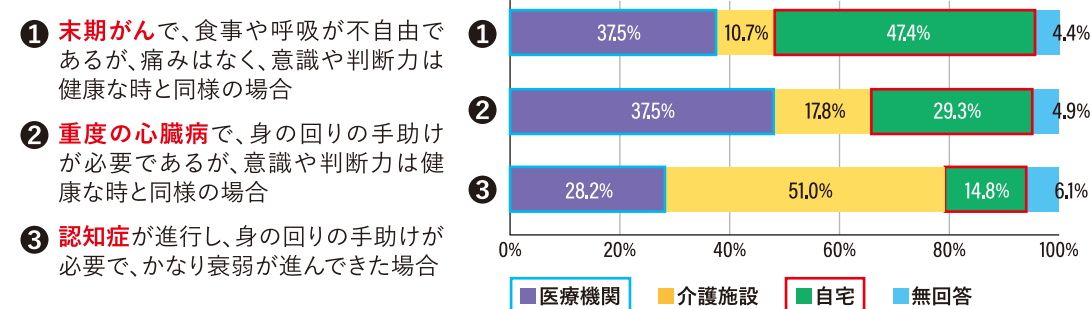
日本の人口の実績と推計（2020年）



総務省 国勢調査および国立社会保障・人口問題研究所 将来推計人口

左は総務省が発表している日本の人口の実績と推計です。日本の人口は2011年をピークに穏やかに減少していきます。原因は少子化です。全体の人口は減りますが、65歳以上の高齢者数は増加していきます。

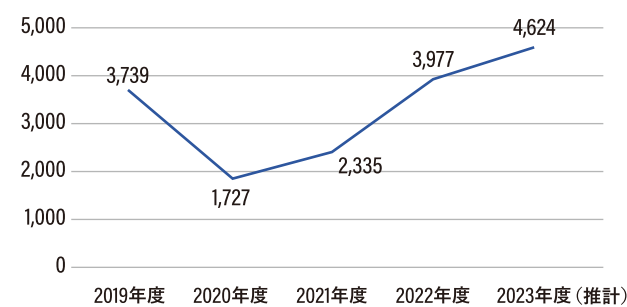
人生の最終段階において、医療・療養を受けたい場所



引用：人生の最終段階における医療の普及・啓発の在り方に関する検討会「人生の最終段階における医療に関する意識調査報告書 平成30年3月」第3章 調査結果49ページ（2.さまざまな人生の最終段階の状況において 過ごす場所や治療方針等に関する希望について）

高齢化によって、色々な病気にかかりやすくなります。その代表的な疾患として、末期がん、心臓病、認知症が挙げられます。

地域包括ケア病床の延べ入院患者の推移



開設 2019年4月 20床 ▶ 2024年2月から 34床に増床

参照：2023年7月～2023年12月自院データ

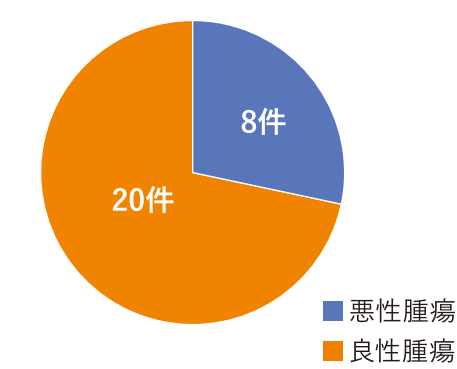
上の表は、人生の最終段階において医療・療養を受けたい場所のアンケート結果です。

末期がんの方のほぼ半数が自宅を希望。重度の心臓病の方は半数の方が病院を、認知症の方の半数は施設を希望されています。疾患によって人生の最終段階を迎える場所に違いがあることが明らかです。

左のグラフですが、地域包括ケア病床は、実はコロナ感染が猛威を振るい出す直前に開設いたしました。コロナ感染の最中は、延べ入院患者数は落ち込みましたが、コロナが5類となった頃から、利用される患者さんの数は増えていきます。

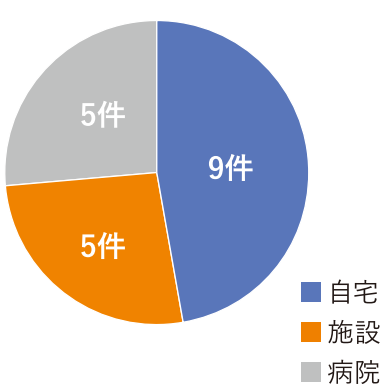
訪問診療実績 2

訪問診療先から当院への入院件数



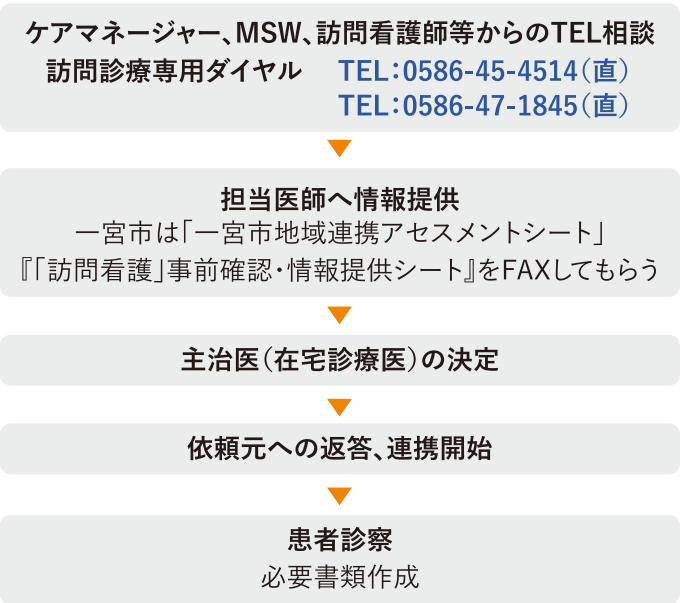
年齢：40歳代～90歳代
男女比：男性/18人 女性/10人

看取り実績



訪問診療先から当院への入院は延べ28人です。緊急往診を行って、状態を診てから入院される場合もあります。ケアマネージャーさんや訪問看護師さん、ご家族の方からの電話によりやり取りで、病院に入院したほうが良いと判断し、搬送していただくこともあります。看取り件数は自宅9件、施設5件、病院5件です。自宅と施設を合わせた、いわゆる在宅で最期を迎えられる方が70%以上です。

訪問診療のご依頼対応など



- ① かかりつけ医、ケアマネージャーさん、訪問看護師さんに訪問診療の申し込みをしてください。
- ② かかりつけ医、ケアマネージャーさん、訪問看護師さんから当院へ連絡があり、患者さんの情報提供を受け取ります。
- ③ 訪問診療医を決定して、当院からかかりつけ医、ケアマネージャーさん、訪問看護師さんに回答します。
- ④ ケアマネージャーさん、訪問看護師さん、福祉用具業者さんなどご本人・ご家族を支えるチームを編成し、訪問診療を開始します。

訪問診療 / 月曜日～金曜日 9:00～17:00
緊急対応は365日24時間体制
夜間・土曜・日曜の緊急対応は当番医制

※ご本人・ご家族など、個人からの直接の申し込みは受け付けておりませんのでご了承ください。

片山医師よりメッセージ

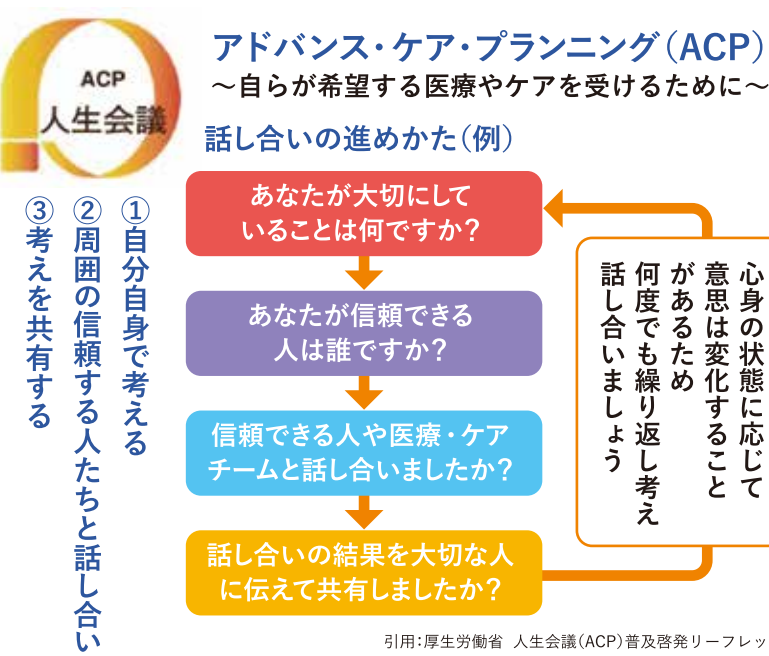
今まで、“消化器のことなら山下病院”というコンセプトで地域の皆様のお役に立つよう努めてまいりました。しかしながら、「令和5年版高齢社会白書」によれば、2025年には日本人口の約3人に1人が65歳以上に達するとされている超高齢化社会の中で、地域に貢献できることはないかと検討した結果、訪問診療・地域包括ケア病床の開設を行いました。呼吸器疾患、循環器疾患、神経疾患、脳血管障害、整形外科領域の疾患など消化器疾患以外の方々も診させていただきます。124年の歴史をもつ当院の基本理念は“心”です。患者さん・ご家族の“心”にひびく、“心”のこもった医療・療養を行うよう、今後も努力してまいります。



山下病院専務理事
地域包括支援・在宅医療統括部 担当医師 片山 信

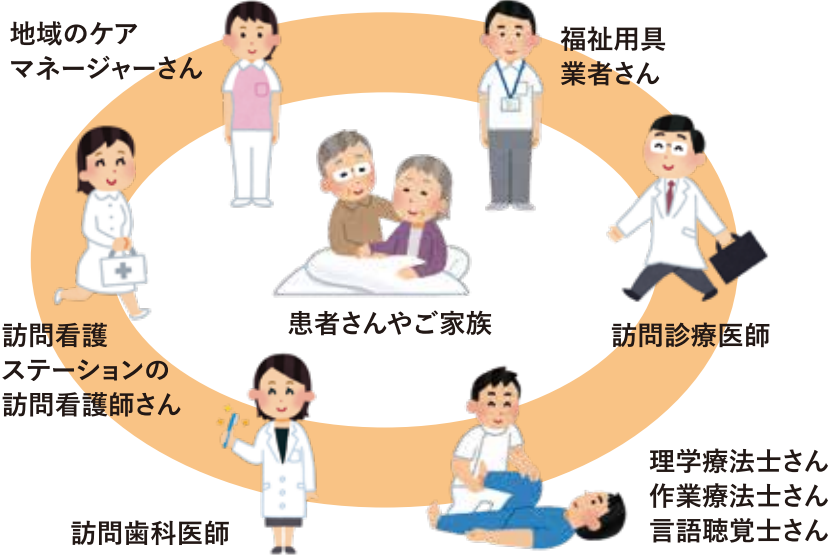


訪問診療・地域包括ケア病床で重要だと考えていること



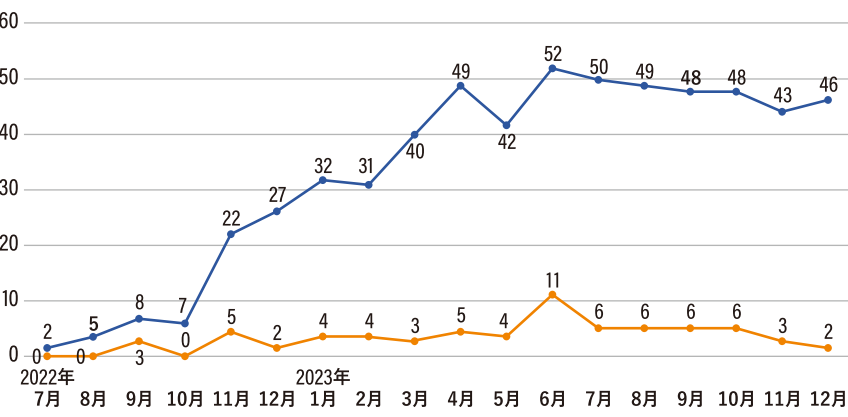
①ご本人・ご家族の意志の尊重
アドバンス・ケア・プランニング(ACP)人生会議です。訪問診療に入る際や、地域包括ケア病床に入院された方、その方のご家族には必ず、ACPについてお話しさせていただいております。
「終末期の事前指示書(リビング・ウィル)」のフォーマットが厚生労働省から出ておりますが、ACPのお話をさせていただいた後、必要と判断される方には、「終末期の事前指示書」の作成をお願いしています。そして、これを元に、ご本人・ご家族の意志を、患者さんを支える医療関係者・介護関係者で共有するようにしております。

訪問診療を支える方々



②他職種との連携と情報共有
訪問診療は、**患者さんやご家族を中心に**行います。地域のケアマネージャーさんのケアプランに沿って、療養を行います。福祉用具業者さんに家でのバリアフリー化、ベッド搬入など住環境整備を行っていただきます。訪問看護師さんはご自宅の近くの訪問看護ステーションの方に対応いただきます。定期的に訪問看護を行っていただくのみならず、体調に変化があれば24時間対応で駆け付けてくれます。
訪問診療医師である我々も365日24時間体制を取っております。

訪問診療実績 1



③ネットワーク
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士さんによるリハビリテーションも受けていただけます。介護施設の方々にもご協力いただき、入浴サービス・ショートステイ・デイケアなど行っております。
訪問診療は2022年7月から開始し、件数は徐々に増加し、今は停滞状態です。しかし、まだまだ余力はございます。緊急往診も行っています。最高は月に11件です。